

私立 東京成徳大学

取組名称 TSU就活力パワーアッププログラム

取組担当者 人文学部観光文化学科 教授・就職部長 玉川 恵子

1. 本学の概要

東京成徳大学は、創立者菅澤重雄が「有徳有為の人材の育成」を建学の精神に掲げて1926(大正15)年に設立した学校法人東京成徳学園によって、1993(平成5)年に開学した大学院を有する大学である。

現在では、社会の多様なニーズに対応して、人文学部(日本伝統文化学科、国際言語文化学科、観光文化学科)、応用心理学部(福祉心理学科、臨床心理学科、健康・スポーツ心理学科)、子ども学部(子ども学科)、経営学部(経営学科)が開設され、4学部8学科体制となっている。

キャンパスは千葉県八千代市に八千代キャンパス、東京都北区に十条台キャンパスを有し、学生数は学部1,416名、大学院41名の計1,457名である。

木内四郎兵衛初代学長は、開学にあたり「共生とコミュニケーション」を教育理念に据えた。現在はこれを「人間理解、多文化理解、自己表現の豊かな人間づくり」という教育目標に展開させ、一人ひとりの学生を大切にしたい少人数教育の場で、社会に出て必要とされる力を養う教育を行っている。

2. 本取組の概要

東京成徳大学八千代キャンパスでは、学生が就職活動を勝ち抜き、人生を主体的に生きる確かな力を育てるため、学部・学科、共通領域部及び学生支援課キャリア支援担当が三位一体となって推進する就活力向上のための「TSU就活力パワーアッププログラム」を展開している。

この取組では、プログラムを通して就職氷河期の逆風に立ち向かう学生の後押しを教職員が一丸となって行うことにより、あきらめない強い意志を持つ学生を輩出し、大学の就職率を毎年着実に向上させ、このPR効果による良質な受験生の確保、更には学士力の向上へと結びつける好循環スパイラルを築くことを目的としている。

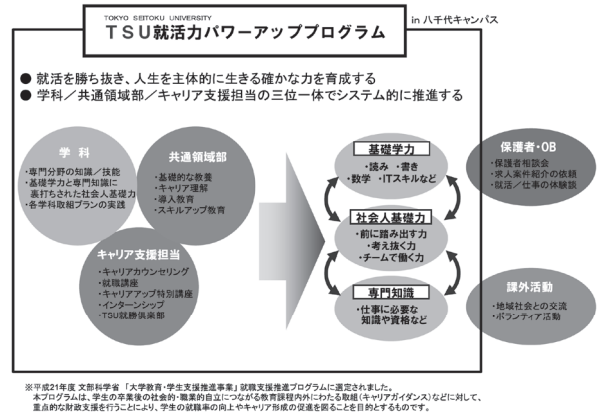


図1 「TSU就活力パワーアッププログラム」

3. 本取組の趣旨・目的・達成目標

(1) 取組の趣旨・目的

本取組は、社会人として必要とされる能力育成のプログラムを、学科が教える専門知識・技能、共通領域部が行うキャリア教育、学生支援課が開講する対策講座に体系付けて実施する。このプログラムを大学が提供し、これに参加する学生を、教職員が一体となって支援することにより、就職率の向上を目指すものである。

本取組が目指す学生が身につけるべき能力は「社会人基礎力」を指標とした。

(2) 達成目標

この取組の達成目標は、各年度における学生の進路決定率(注)が前年より向上することを目標としており、この着実な繰り返しによって成果を得る。

xx年度の進路決定率をRxxとするとき、 $R20 < R21 < R22 < R23$ を目指す。(注) 進路決定率 = (就職者数 + 進学者数) / 卒業者数

4. 本取組の具体的内容・実施体制

「TSU就活力パワーアッププログラム」では、学生が4年間かけて段階的に着実に成長できるよう、様々

なカリキュラムを用意している。

八千代キャンパス2学部6学科に共通するキャリア教育では、1年次からの段階的なキャリア形成を目指している。共通領域部では、キャリアデザインの授業において、1年次に自己理解のための『自分力基礎診断』を実施、入学時点における基礎学力を再認識させ必要な学生には就職講座「夏期・冬期筆記試験対策講習」「SPI模擬試験」の受講を勧めるなど指導し、試験結果を学科・共通領域・キャリア支援担当で共有し活用している。

特に重要な1年次前期の必修科目である「キャリアデザイン」は、キャリア形成に繋がる講義・グループワーク等を通じて「自分らしい生き方」について考えさせるとともに、卒業後の近い将来（就職、進学等）を見据えた大学4年間の過ごし方を計画させる。

それを踏まえ、2年次の「キャリアデザイン実習Ⅰ」では、社会に出てから求められる各種能力（社会人基礎力、ソーシャルスキル等）について理解を深めるとともに、それらの基礎・基本を修得させる。

さらに3年次の「キャリアデザイン実習Ⅱ」では、企業等でのインターンシップ（就業体験）により実務を通じてシゴトを立体的に体得させ、グループワーク中心のキャリア関連プログラムを通じて、それぞれの目標に応じたキャリアアップを図る準備をさせ社会で活躍できる人材の育成に努めている。

キャリア教育における基礎作りをふまえ、学科での専門的な知識の修得と、「学科毎の取組プラン」の推進により、学生生活を通じて社会人基礎力と就職に必要な資質を鍛えている。



写真1 学生が主体的に課題に取り組む授業

キャリア支援担当では、全員有資格者のキャリア支援スタッフが、全学年を対象に進路・就職に関する個別相談（キャリアカウンセリング）に随時対応、学生のキャリア形成をしっかりとサポートし、また公務員試験や国家資格試験の合格をバックアップするキャリアアップ特別講座や、就職活動のノウハウをマスターできる就職講座を用意している。また、就職活動中には、面接対策やビジネスコミュニケーションの指導等、実務的な側面からも手厚く支援を行っている。

キャリア支援担当の対策講座では、自己分析、適性診断、模擬面接、企業セミナー等の就職実務講座（全員対象、学生負担なし）と、公務員試験対策、社会福祉士等資格、教員試験対策、保育士資格等（任意、学生の一部負担あり）の資格取得講座を開設して、学生の自己研鑽を支援している。



写真2 グループワークを組み込んだ就職講座

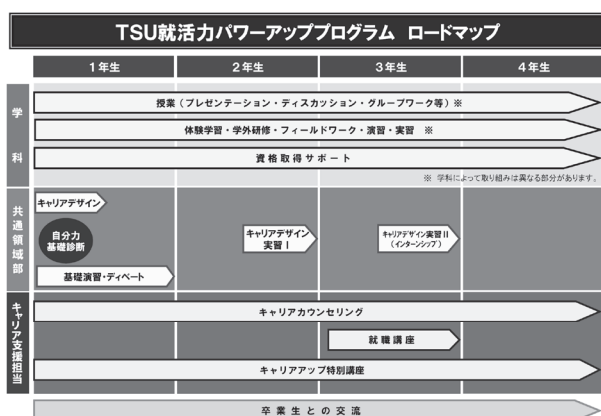


図2 ロードマップ

学科では、学問分野により取組に違いはあるが、卒業後社会で活躍できる力を高めるため、基本的に、体験型・参加型の授業を目指す。基礎学力、専門知識の習得はもちろん、学生が主体的に課題に取り組む機会を多く設けている。

取組の実施体制は、以下のとおりである。

- ・実施主体：学科・共通領域部・学生支援課キャリア支援担当（コーディネーター）
- ・実施責任者：就職部長
- ・審議機関：就職委員会（教授会の下部機関）

5. 本取組の評価体制・評価方法

本取組の評価体制は以下のとおりである。

【プロセス評価】開講座毎に取組結果を評価する。一次評価は実施担当者が行い、二次評価は実施責任者が行う。

【成果評価】達成目標に照らして取組年度の進路決定率実績を評価する。

達成目標に対する達成度についての指標は以下のとおりである。達成目標はR20<R21<R22<R23と設定。その達成度は、平成20年度実績を基準値とし、これに+1%を達成度50%相当として積算する。

取組プランの実施にあたっては、大学をとりまく社会・経済情勢、とりわけ就職環境の動向を敏感に察知し、タイムリーな内容となるよう常に見直しを図りながら推進するために、年度末に就職委員会において次年度に向けた取組プランをリニューアル作成することとしている。

本年度は取組の初年度であり、今後プログラムを着実に推進して、学生の就活力をパワーアップしていきたい。

6. 本取組の実施計画等

本取組は、学生への講座開講を主体としているため、年度初めに「就職講座年間実施計画」及び「キャリアアップ特別講座案内」を作成して、実施事項、実施時期及び開催場所等をホームページ等で明示している。

表1 就職講座スケジュール表

実施時期	内 容
5月	インターンシップ説明会
6月	就活準備講座(キャリア支援登録カード配布)
	就活の流れ・自己分析講座
	コンピテンシー診断
6月～7月	会社・仕事・業種・職種の基本知識講座
	一般常識模擬試験
7月	個別面談
8月	履歴書・エントリーシートの書き方講座
8月～9月	履歴書・エントリーシート集中指導
9月	就活本番スタート講座
	ビジネスマナー・リクルートファッション講座
10月	履歴書用写真撮影会
	SPI模擬試験
11月	ニュースの読み解き方講座
	留学生就職説明会
12月	論文の書き方講座
	面接対策講座
1月	グループワーク講座
	求人情報の見方&合同説明会のまわり方講座
3月	冬期筆記試験対策講習
3月	学内合同企業セミナー
3月	履歴書用写真撮影会
3月	面接実践トレーニング
随時	4年生の就活体験を聞く会

表2 キャリアアップ特別講座スケジュール表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
- 日本語能力試験(1級)対策特別講座												
- 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験直前対策特別講座												
- 保育士試験対策特別講座												
- 臨床心理学系大学院進学対策特別講座(基礎知識講座)												
- 臨床心理学系大学院進学対策特別講座(英語読解力向上講座)												
- 旅行業務取扱管理者国家試験対策特別講座(基礎講座)												
- 旅行業務取扱管理者国家試験対策特別講座(総合資格対策講座)												
- 公務員試験対策特別講座(コンプラン講座)												
- 公務員試験対策特別講座(上級・II種対策講座)												
- ホームヘルパー養成講座(介護員養成2級課程研修)												
- 教員採用試験対策講座												

